

あゆみ

J C H O
二本松病院

二本松市成田町1-553
TEL.0243-23-1231
FAX.0243-23-5086
<http://nihonmatsu.jcho.go.jp>
発行者：あゆみ編集委員会



9月13日、老健施設で「敬老会」を開催しました。入所・通所の利用者様約100名が参加し、今年の賀寿(長寿の節目)祝を行いました。そのなかで賀寿の対象者43名、最高齢者は103歳でした。

はじめに六角施設長の挨拶があり、利用者様への感謝とねぎらいの言葉の後、賀寿対象者一人ひとりに記念品が贈呈されました。

その後、職員による余興「どじょうすくい」での滑稽な踊りが利用者様の笑いを誘いました。

また、二本松市内で活躍されている『三菊会』の皆様による民謡の歌と踊りも披露され、「会津磐梯山」など耳馴染みの曲で、利用者様も手拍子や掛

け声で一緒に会を盛り上げました。会の最後には、利用者様の代表者から挨拶と感謝の言葉を頂き、安田総看護師長の音頭による参加者全員の万歳三唱で幕を閉じました。

私たちが、今日このように健やかで幸せな日々を営むことができるのは、先輩方の長年のご苦勞と努力があってこそです。感謝の気持ちや、尊敬の気持ちを伝えることを忘れずに、これからも利用者様が健やかに楽しい毎日を過ごし頂けるよう、少しでもお役に立てるよう、尽力してまいりたいと思います。

老健サービス向上委員会 佐久間 和子



2018年 県北方部親善ソフトボール大会

9月18日に第45回県北方部病院親善ソフトボールの大会が月舘農村広場で行われました。全11施設参加のもと、白熱した試合が繰り広げられました。

当院は過去10年の最高成績で、準優勝という結果を残すことが出来ました。20代～60代と幅広い年齢層が参加する中、若手とベテランが融合し、一致団結することが出来た結果だと感じています。

来年の大会は当院が幹事となり、大会を開催することとなります。野球部を中心に皆さまの力を借りながら、今年以上に良い大会になる様に努めていきたいと思っております。

放射線室 診療放射線技師 三浦 勉

大会成績

1回戦

一陽会病院に8-2で勝利

2回戦

桜ヶ丘病院に14-0で勝利

準決勝

福島赤十字病院に5-2で勝利

決勝

公立藤田病院に10-3で敗北



一屋内消火栓操法大会に参加して

平成30年9月19日(水)二本松市城山総合体育館駐車場で行われた
第32回安達地方屋内消火栓操法競技大会に参加しました

本大会の目的は、火災発生時に、迅速かつ的確な初期消火活動が行われるよう、消火器及び屋内消火栓設備などの基本的な操法技術の習得を目的とするもので、防災体制の充実を図るために開催されました。

本番当日は天候に恵まれ、病院、福祉施設、事業所、市役所など全15チームが参加し、レベルの高い操法技術訓練を披露しました。当院からは、総務の松坂補佐、指揮者に介護福祉士 佐藤恭介、1番員に臨床検査技師 児玉諒、2番員に管理栄養士 佐藤瑤子の3名が参加。事前に消防本部で消防士の指導の下練習を行い、業務を終えた後、自主練習にも励みました。はじめは、不慣れな操法技術と動きに



苦戦していましたが、練習を重ねるにつれてコミュニケーションや掛け声の向上に伴い、操法訓練にも磨きがかかり、本番では息の合った操法技術訓練を披露することができました。

惜しくも入賞はできませんでしたが、大きなミスやケガもなく、充実した本大会を終えることができました。当院でも防災訓練を行っていますが、今回参加させて頂いたことで、普段触れる機会の少ない屋内消火栓操法を習得できた時間は、私たちにとって貴重なものとなり、迅速な行動がより安全な防災体制を図れることを改めて学びました。今後は大会の経験を火災予想思想や防災能力の向上にいかしていきたいと思っております。

栄養管理室・管理栄養士 佐藤 瑤子

二本松第二中学校の 皆さんが福祉体験を行いました

福祉に対する関心を高めるという目的で、9月7日に二本松第二中学校の3年生5名が福祉体験に老健へ訪れました。

職員の説明後、デイケアの利用者さんと一緒に集団リハビリやレクリエーション、マシーンをを使った運動で筋力を維持する体験などをしてみました。その後、利用者さんと一緒に風船バレーも行いました。利用者さんだけでなく生徒さん達の笑い声が響き、楽しかったという感想がありました。

福祉に対してのイメージも職員や利用者さんと関わる事で暗い、大変、疲れる、から、明るい、楽しい、やりがいのある仕事だと印象が変わったようです。なにより利用者さんの笑顔が一番印象に残ったようです。職場体験を通して、これから進路を検討するうえで、福祉に対する関心が少しでも高まれば良いなと思えました。

ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

臨地実習指導者会 介護福祉士 渡辺 ゆき



まんまるカフェ (認知症カフェ)を 開催しました

認知症カフェをご存知ですか。

認知症カフェは、記憶や考える機能を高めるために、遊びや運動を通して認知症の人やその家族の方が、認知機能の低下にいち早く気づき、早めに対策を講じることで、孤立しがちな本人や家族と地域とのつながりの場がもてるよう、おこなっているものです。年齢に関係なく興味のある地域住民の方々もなたでも参加することができます。

9月27日に老健1階の包括支援センターに於いて、まんまるカフェ(認知症カフェ)を開催しました。まんまるカフェは、まあるく穏やかな時間を、皆さんと一緒に過ごしたいと思い名づけました。

淹れたてのコーヒーの良い香りに包まれ、二本松



城山クラブの先生をお招きし、笑いの中でのスリーA体操や、お菓子を頂きながら折り紙など和やかに行われました。

認知症の相談コーナーも設けてありますので気軽にご相談ください。まんまるカフェ(認知症カフェ)は奇数月に開催しています。皆さんも一緒に楽しく有意義な時間を過ごしてみませんか。

二本松第1地域包括支援センター
内藤 祐子



編集
後記

「〇心と秋の空」のように、変わりやすい秋の空模様ですが、近ごろのお天気(悪天候)はどうでしょう、暑さ寒さと台風の影響に驚かされています。影響を受けた皆様にお見舞い申し上げます。元気があれば何でもできますので、これから秋空のもと美味しいものを食べて、体を動かしながら笑って、やがてやってくる冬に備えましょう。